

防水、塩害防止、耐久性向上はまず躯体コンクリートから
躯体防水用非空気連行性高性能標準型減水剤

コンプラストXP1000

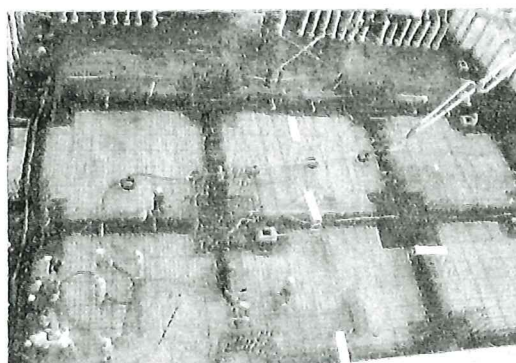
コンプラスト標準型211と遅延型RP264は、密実でクラックの少ないコンクリートを作るために広く使用されています。しかしながら、単位水量規制を達成するために過剰の混和量が必要になる場合や、より高度の強度や流動性が要求される場合のために、高性能型コンプラストXP1000が新たに導入されました。

特 長

- 空気を連行せず、強度・密度を大幅に増大するので、高耐久性・水密性コンクリートに最適です。
- ミックスに粘りを与え骨材分離を防止して、ジャンカのない均質なコンクリートを作ります。
- 粘着力が強く躯体の拘束度を高め、収縮によるクラックの発生を最小限に抑えます。
- 表面にピンホールの発生が少なく、密実な打放し仕上げに適しています。
- 以上の総合効果として、きれつが少なく水密性が高く、塩害や凍結融解に強く、耐震性向上にも寄与し、コンクリート本来の優れた耐久性を発揮します。



鳥取県倉吉市 県営米田団地建替 (設計: 井手建築設計事務所)



大阪市中央区 ソフトウエアビル 道路修繕 耐圧版のコンクリート打設 (設計: 井手建築設計事務所)

コンプラストXP1000混和コンクリートの配合

基本的な配合条件は次の通りです。

水セメント比	55%以下
スランプ	屋根の場合 15cm以下
	床の場合 15cm以下
	壁、柱の場合 18cm以下
単位セメント量	1㎡当り 300kg以上
混和量	セメント100kg当り 300~1000cc
減水率	15~25%

詳細については下記の仕様書を参照下さい。

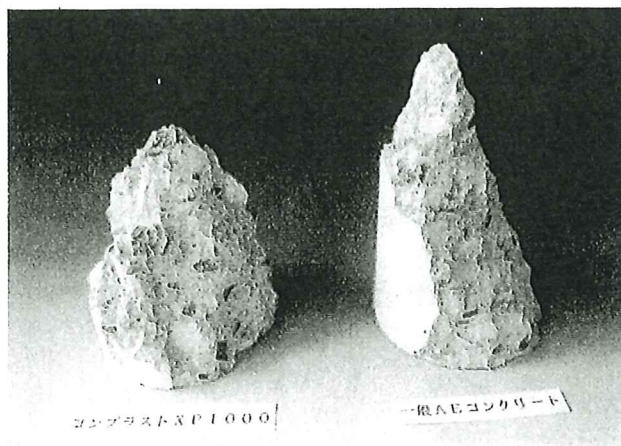
- コンプラスト混和コンクリートの配合について (生コンプラント用)
- TBK-300工法 コンクリートによる陸屋根防水工法仕様書 (設計用)
- TBK-400工法 地下、水槽など躯体コンクリート防水工法仕様書 (設計用)

Conplast XP1000

コンプラストXP1000の代表的物性

性状・荷姿	褐色液状、18ℓ缶
密度 (20℃)	1.05g/cm ³
主成分	ポリカルボン酸
塩素イオン量	0.00kg/m ³
アルカリ量	0.01kg/m ³
空気連行量 (打設)	約2.0%
使用セメント	ポルトランドセメント全種
他の混和剤との適合性 (併用)	コンプラスト全種と併用可能 (但し、別々に添加)
適合規格	JIS A6204 減水剤標準型 (I 種)

圧縮強度試験供試体の比較 (配合は共に24-15-20)



圧縮強度供試体比較

注 意 事 項

- (1) コンプラストXP1000は、危険物規制法に定められている危険物ではありませんが、投入作業中は保護手袋と保護眼鏡（ゴーグル）を着用して下さい。
- (2) 皮膚に付着した場合は水で洗い流して下さい。異常を感じる場合は医師に相談して下さい。
- (3) 誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- (4) 有害物質、環境汚染物質は使用されていません。
- (5) 使用する前に製品安全データシートを読んで下さい。

	コンプラスト 混和コンクリート	一般AEコンクリート
混和剤	コンプラストXP1000	AE減水剤標準型 I 種
水セメント比	55%	55%
空気量 (筒先)	2.9%	5.1%
スランプ (筒先)	19.5cm	17.0cm
圧縮強度 (標準養生4週)	39N/mm ²	26N/mm ²
破壊状況	直立割れ	斜め割れ

(九州職業能力開発大学校建築施工システム技術科、H16年度RC開発課題)

TBK

発売元 建設材料コンサルタント
東亜貿易株式会社
〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2-2-1100 (大阪駅前第2ビル)
TEL (06) 6346-0212(代) FAX (06) 6346-0226
www.toaboeki.com



製造元
CREDENCE
クリディエンス株式会社
フォスロック日本総代理店
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-3-3F
TEL (03) 4590-0200 FAX (03) 3409-3898
URL: http://www.crdc.co.jp E-mail: crdc@crdc.co.jp

特約店